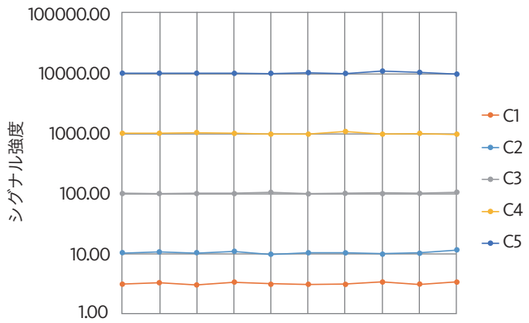
高い同時再現性を実現

自動化によって高い測定精度を実現します。



高 ↑ ↓ 低

濃度	CV
C5	2.3%
C4	2.9%
C3	1.9%
C2	4.0%
C1	4.5%

仕　様

基本原理	化学発光酵素免疫測定検出（PMT によるフォトンカウンティング）	
検体架設数	最大 30 サンプル	
検体容器	試験管（開栓）	直径（外径）13 ～ 16mm 高さ 75 ～ 100mm デッドボリューム 検体の液面から高さが 5 mm 以上
	サンプルカップ	コニカル 4 mL デッドボリューム 0.15 mL
分注液量（可変）	20 ～ 120μL	
反応時間（可変）	1 ～ 24 分	
測定時間（可変）	13 ～ 128 分	
反応温度（可変）	37 ～ 45℃	
記憶検体数	上限 10 万検体分	
電源仕様	測定部：AC100 ～ 240V、空圧源：AC 100 ～ 117 V、定格周波数：50 Hz/60 Hz 最大消費電力：（測定部本体、サンプラ含む）：1200 VA 以下 最大消費電力（空圧源）：230 VA 以下（50 Hz）、280 VA 以下（60 Hz）	
測定部（サンプラ含む）	寸　法	約 1,018 mm（W）× 約 1,089 mm（D）× 約 1,295 mm（H）
	重　量	約 320 kg
空圧源	寸　法	約 280 mm（W）× 約 355 mm（D）× 約 400 mm（H）
	重　量	約 17 kg

本製品は研究用のため、診断には使用できません。

製造販売元
シスメックス株式会社
本　社　神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1　〒651-0073

（お問い合わせ先）
支　店　仙　台 022-722-1710　北関東 048-600-3888　東　京 03-5434-8550　名古屋 052-775-8101
　　大　阪 06-6337-8300　広　島 082-248-9070　福　岡 092-411-4314

営業所　札　幌 011-700-1090　盛　岡 019-654-3331　長　野 0263-31-8180　新　潟 025-243-6266
　　千　葉 043-297-2701　横　浜 045-640-5710　静　岡 054-287-1707　金　沢 076-221-9363
　　京　都 075-255-1871　神　戸 078-251-5331　高　松 087-823-5801　岡　山 086-224-2605
　　鹿児島 099-222-2788

日本・東アジア地域本部　03-5434-8565

www.sysmex.co.jp

取扱店

sysmex | Lighting the way with diagnostics

研究用全自動高感度免疫測定装置

HI-1000

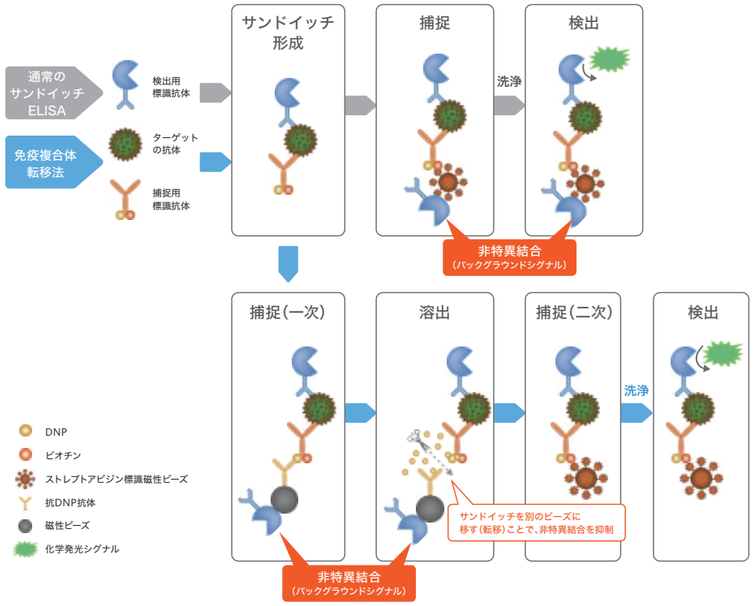
高感度、フレキシブル
＋
全自動測定

高感度、フレキシブル、全自動で切り拓く イムノアッセイの未来

従来の免疫測定装置に iCT 法*とフレキシブルな反応条件を搭載してより、高感度な免疫測定を実現しました。
お客様のご要望にお応えする、シスメックスからの新しいご提案です。

iCT法によって高感度測定を実現

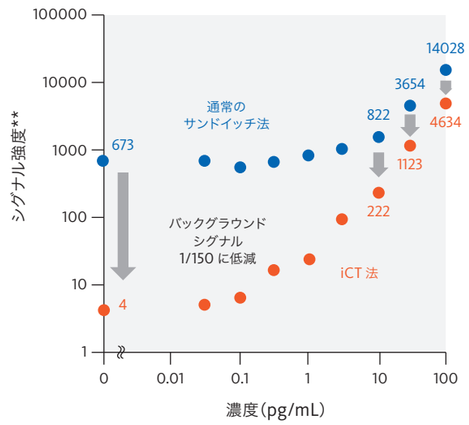
シスメックスの独自技術である iCT 法を取り入れることによって通常のサンドイッチ ELISA で発生する非特異結合を低減できます。



*iCT 法：免疫複合体転移（Immune Complex Transfer）法という弊社の独自技術です。

iCT法による高感度化の事例

iCT 法によって従来のサンドイッチ法と比べて高感度な測定結果を得ることができます。



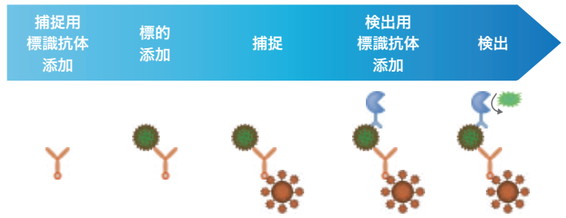
特異シグナル
1／3
×
バックグラウンドシグナル
1／150
II
感度
50 倍向上を達成

**当社免疫測定装置の化学発光酵素免疫測定法における発光強度の単位

フレキシブルな反応条件を搭載

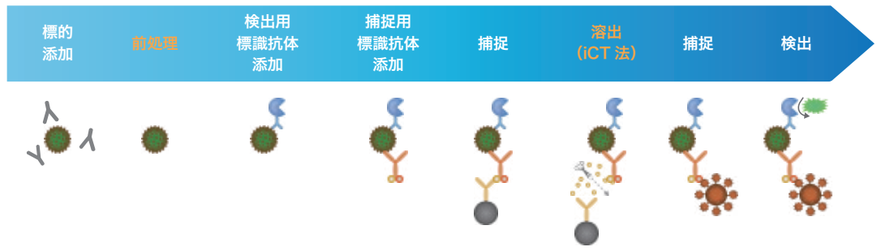
お客様の目的に応じて反応条件をフレキシブルに設定することができます。

通常のイムノアッセイ



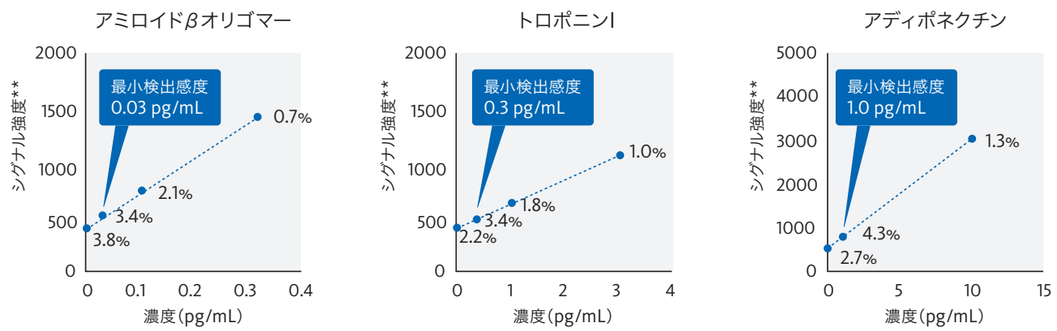
iCTステップを組み込んだイムノアッセイ

前処理ステップ、iCTステップを組み込んだイムノアッセイ



反応条件最適化の事例

様々な反応条件を組み合わせることにより、イムノアッセイを最適化することができます。
フレキシブル、高度、全自動な免疫測定によって、お客様のニーズにお応えします。



**当社免疫測定装置の化学発光酵素免疫測定法における発光強度の単位(表中の数値はCV値)